政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2015年２月27日～３月12日） キャシー松井：ゴールドマン・サックス証券株式会社マネージングディレクター

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向		良くなっている	12月上旬/中旬との比較で経済状況は改善したように見える。当社エコノミストが算出する経済活動指数(CAI)を見ても、CAI成長率(3ヵ月伸び率、年率換算)は12月の+0.5%から1月は+1.5%(速報値)に上昇した。経済状況の改善には、(1)輸出の伸び、(2)労働需給の一層の逼迫を背景とする賃金/冬季賞与の高い伸び、(3)2月のロイター短観の製造業DI/非製造業DIの改善に見られた景況感の改善、などの要因が寄与していると考えられる。
1	2015年３月上旬から中旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年12月上旬から中旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		
経済の好循環実現に向けた取組について		－	企業に賃上げを促すため、(1)大幅賃上げを実施した企業に対する優遇税制の拡大、(2)雇用の柔軟性を高める方向での労働市場改革の推進(企業がベースアップに消極的である理由は、賃金が固定費で、景気が再び悪化した場合も引き下げが難しい点にあるため)、など追加の奨励策を考える必要があろう。
２－１	足下の企業収益の拡大が速やかに賃金上昇や雇用拡大につながり、更なる消費や投資の拡大に結び付くためにとるべき対応について、具体的なお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。		
２－２	好循環が生まれ始めている一方、非正規労働者や中小企業等への波及が重要との指摘もございます。そうした観点から強化すべき取組について、お考えがございましたら300字以内でご記入ください。	－	Q2-1の回答とも類似するが、中小企業にも賃上げの優遇税制を拡大する必要があるだろう。また、正規雇用と非正規雇用の賃金格差が非常に大きいことを踏まえ、「同一労働同一賃金」を保証するオランダモデルのような法律制定を考える必要があるかもしれない。当然、この制度の導入は容易ではなく、従業員、労働組合、政府間で十分な話し合いが必要となるが、オランダの例に見られるように、これは正規雇用/非正規雇用の賃金格差の解消を促すばかりでなく、労働市場全体の柔軟性を高める効果もある。